

DT-900LAN I/O 通信簡単マニュアル

ステップ 1 I/O ボックス DIP スイッチの設定

工場出荷時：IR 速度 115.2K

SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

連鎖：マスタ単独時は SW5 を ON、連鎖なら OFF。

ステップ 2 I/O ボックス IP アドレスの設定

DT-900 のユーティリティ (setip.lod) を使う。

設定項目：IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、デフォルトサーバ。(LMWIN が稼働する PC の IP アドレス)

変更不要の場合ステップ 2 は飛ばしてもかまいません。

ステップ 3 設定情報の確認

I/OBOX の IP アドレスへ TELNET を起動。

通信実行後 'IP' とコマンドを実行。

IR 速度：115.2K。

確認事項：ポート番号。

TELNET での確認が成功しない場合

3 ピンレベルコンバーターケーブルを I/O ボックスにセット。

ハイパーターミナルを起動。

ターミナルを開いたら 'IP' とコマンドを実行。

IR 速度：115.2K。

シリアル通信速度：115.2K。

確認事項：IP アドレス、ポート番号等。

ステップ 4 LMWIN の実行

INI ファイル (Device.ini) の設定。

MAX_IO (最大 I/O ボックス数) の設定。

USE_IP の登録。(例、1=130.1.80.193)

LMWIN の実行。

環境設定を行う。通信設定で作業ディレクトリ、ログファイルのパス指定。

ポート番号の設定。

通信を行う I/O ボックスの選択。

あとは通常の LMWIN と同様の手順。